

発表タイトル

日本人大学生の授業外英語学習の支援 (Fostering Informal English Learning among Japanese College Students)

発表者所属名

メディア社会文化専攻 (Department of Cyber Society and Culture)

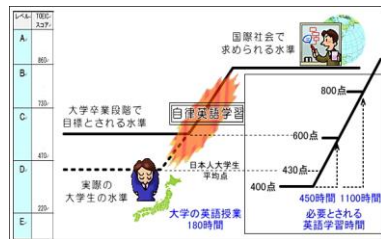
発表者氏名

石橋 嘉一 (Yoshikazu ISHIBASHI)

研究目的

本研究は、日本人大学生の授業外英語学習を対象とし、英語学習の支援方法を提案することを目的とする。

研究背景：英語学習の支援の必要性



調査概要

対象：日本人大学生 627 名 (1 年生 321 名、2 年生 306 名)

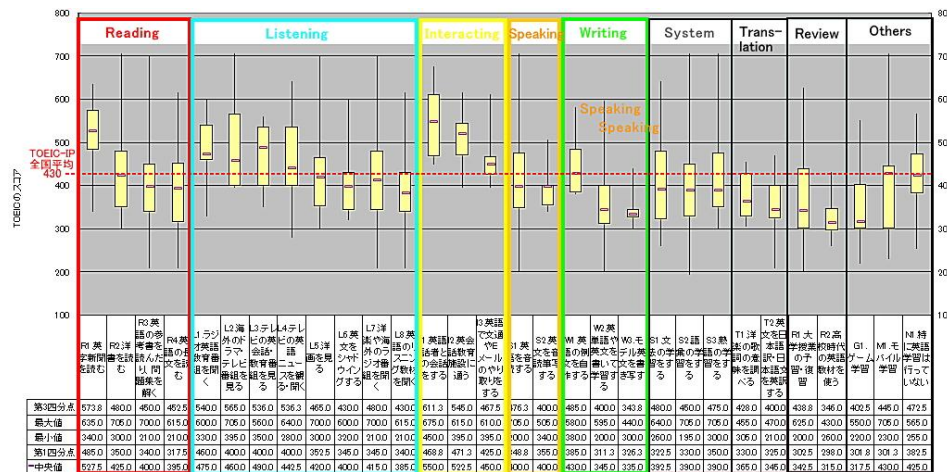
方法：授業外英語学習について自由記述式の質問紙調査を実施した

分析：①TOEIC(IP)スコアの記述があった 383 名 (1 年生 172 名、2 年生 211

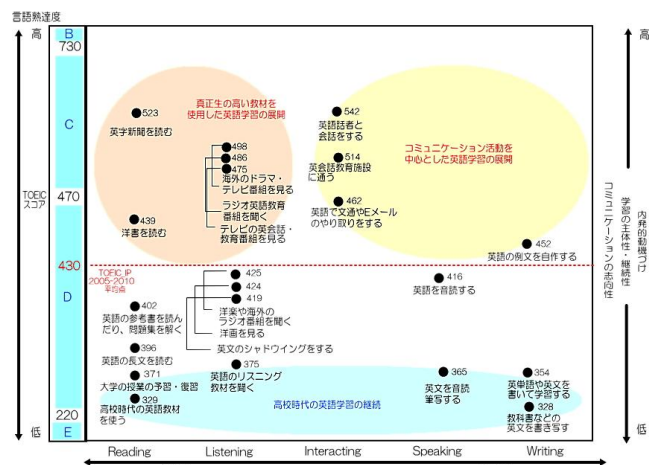
名) を対象に授業外英語学習についての概念生成を行い分類した

②授業外英語学習と言語熟達度 (TOEIC スコア) との関係を分析した

結果 ① 日本人大学生の授業外英語学習の領域と言語熟達度の関係



② 授業外英語学習の概要



考察とまとめ

言語熟達度の高い学習者：インタラクショ
ン中心の学習を展開、学習の主体性・教材の真正性・内発的動機づけが高い
(→ Communicative, Interactive)

言語熟達度の低い学習者：リメディアルな
学習と言語システム・テキスト中心の学習を展開、外発的動機づけが高い
(→ Remedial, Textual, Mechanical)

今後の研究

言語熟達度の高低に分けた群で、実験デザインを打ち立て学習支援効果の検証を行う